

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2006-282719(P2006-282719A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2005-101343(P2005-101343)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/08 (2006.01)

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

C 0 8 G 18/16 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/08

B 0 1 D 39/16 B

C 0 8 G 18/16

C 0 8 G 18/08

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月18日(2007.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

活性水素化合物（A）とポリイソシアネート（B）とを、ウレタン化触媒（C）の存在下に反応させるポリウレタンフォームの製造方法において、反応混合液の粘度 1 0 0 0 0 m P a ・秒までの平均粘度上昇速度 { [ 1 0 0 0 0 ( m P a ・秒 ) - 混合前の X 成分 ( ( A ) を含有する成分 ) と Y 成分 ( ( B ) を含有する成分 ) それぞれの粘度の加重平均粘度 ( m P a ・秒 ) ] / 混合開始から粘度 1 0 0 0 0 m P a ・秒までの時間 ( 秒 ) } が 1 4 0 ~ 2 0 0 0 m P a ・秒 / 秒であることを特徴とするポリウレタンフォームの製造方法。

【請求項 2】

活性水素化合物（A）とポリイソシアネート（B）とを、ウレタン化触媒（C）の存在下に反応させるポリウレタンフォームの製造方法において、さらに整泡剤（D）および／または発泡剤（E）の存在下に反応させる、請求項 1 に記載のポリウレタンフォームの製造方法。

【請求項 3】

ウレタン化触媒（C）として、活性水素化合物（A）に対し、0.1 ~ 1.2 重量 % のトリエチレンジアミンを用いる請求項 1 または 2 に記載のポリウレタンフォームの製造方法。

【請求項 4】

ポリウレタンフォーム中の周期表第 3 ~ 15 族の金属の合計含有量が 1 0 0 0 p p m 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のポリウレタンフォームの製造方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の製造方法により得られたポリウレタンフォームがフィルター用部材として使用されることを特徴とするフィルター用ポリウレタンフォーム。

**【請求項 6】**

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の製造方法により得られたポリウレタンフォームが研磨用部材として使用されることを特徴とする研磨用ポリウレタンフォーム。